

氏名	兒玉とも江
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4057 号
学位授与の日付	平成22年 3月25日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Factors Affecting Appropriate Management of Patients with Sexually Transmitted Infections in Japan (日本における性感染症患者の適切な管理に影響する因子について)
--------	---

論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 小熊 恵二 准教授 児玉 順一
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

医師は性感染症の診断の機会を捉え、患者に対して再感染を予防する指導やヒト免疫不全ウィルス（HIV）検査を行うべきである。これらの対策は重要であるが日本においてどの程度行われているか知られていない。我々は横断研究を行い、医師から適切な管理（HIV 抗体検査勧奨、コンドーム使用の指導、性交渉相手の検査もしくは治療）を受けた性感染症患者の割合や、その実施に影響している要因を明らかにした。3つの対策を受けた患者の割合は低く、HIV 検査勧奨 27.0%、コンドーム使用の指導 64.8%、性交渉相手の検査もしくは治療 17.5% であった。女性患者は男性患者よりもよく管理されており、特に HIV 抗体検査の勧奨はオッズ比 2.82 で、勧奨された割合は有意に高かった。また期間中 20 人以上を診断した医師からは適切に管理を受けていない傾向がみられた。これらの結果から性感染症の効果的な予防には、男性患者へのより適切な管理や、診断数の多い医師が適切な管理をするための対策が必要なことが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、岡山県内の医師に対するアンケート調査にもとづいて、性感染症患者の適切な管理に影響する因子について解析したものである。国内の先行研究にもとづいて、HIV 抗体検査勧奨、コンドーム使用の指導、性交渉相手の検査もしくは治療を適切な管理の指標として、その実施に影響している要因を明らかにすることを目的とした。その結果、これらの対策を受けた患者の割合は必ずしも高くなかったが、女性患者は男性患者よりもよく管理されていた。

本研究結果より、性感染症の効果的な予防には、男性患者へのより適切な管理や、診断数の多い医師が適切な管理をするための対策が必要であることを示した価値ある業績と判断される。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。